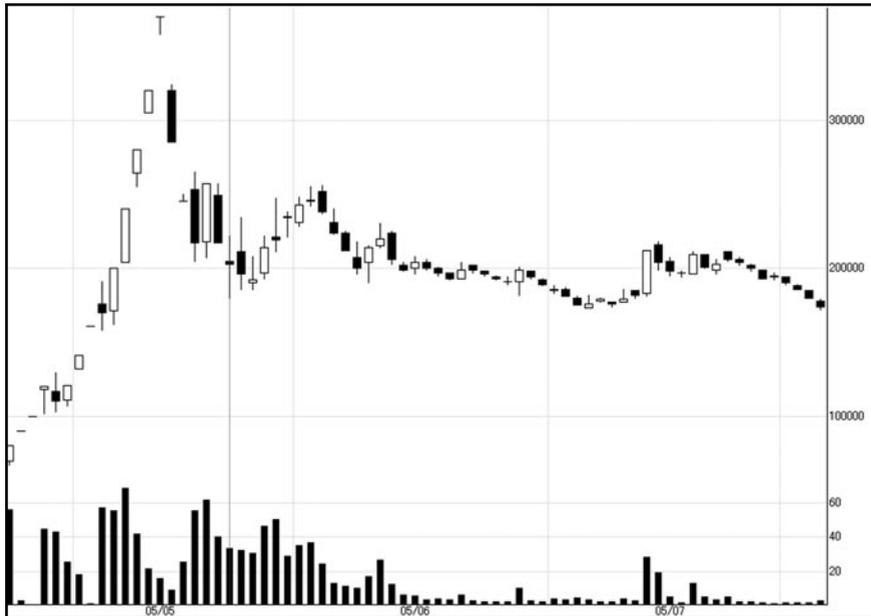


8704 トレイダーズ証券 (日足) 2005/04/07-2005/05/24



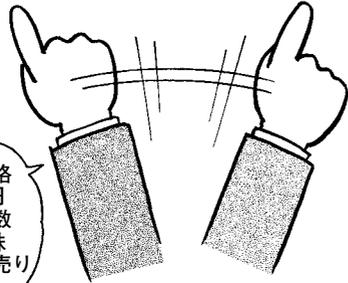
9424 日本通信 (日足) 2005/04/21-2005/05/24



(2) チャートで読む 値動きの特徴



10 株 50 万円 2500 株



公募価格
50万円
公開株数
2500株
成り行き売り

公募価格
50万円
公開株数
2500株
成り行き買い

次に出てくる
成り行きの売り
成り行きの買い
というのは
どちらに
どのくらいの株数が
入ってくるかは
わからない!

株数が
違いすぎるから
株価の気配が
切り上がるんだ



上場初日は
まず公募価格の
50万円で
気配が始まる

そうして
株数が合って
初値が決まる

やがて50万円が
60万円
70万円
80万円



100万円の株価に
きたときに
例えば2500株の
買い注文に対して
だいたい均等に
2500株の売り注文が
そろって株数が合うまでは
値がつかない

売り

2500 株

100 万円
↑

公募価格 50 万円

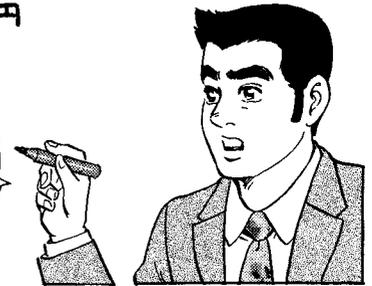
買い

2500 株

初値を仮に
100万円として
どういう状態で
約定するか
というど...

基本的に
ないけどね

こんなに
びったり
ということは



100万円で
値が付いた瞬間
この株価は
上にいくか
下にいくか
わからない

この値が付きそうな
気配値が99万円あたりで
株数が合致して
いないときは

気配値がだーっと
上がって
変わる瞬間がくる

それを見て
売ってくるモノもある
すると一瞬
100万円に寄ってくる

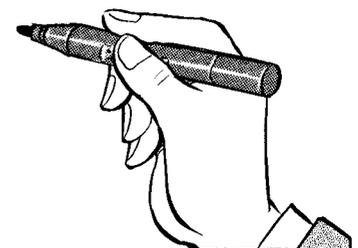
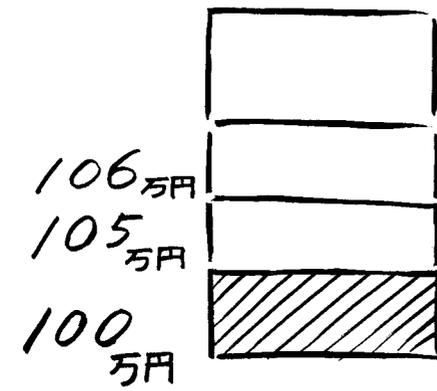
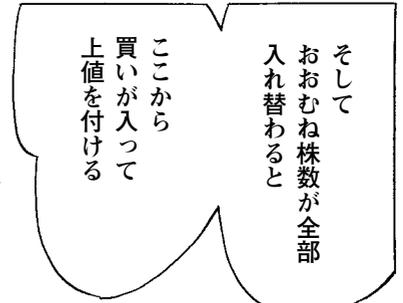
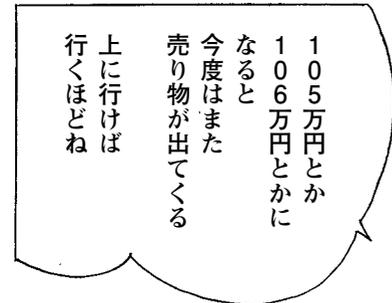
2500 株

100 万円
↑

2500 株

寄って
くるけど...







それで
終値が110万円だと
いちおう平均の
買いコストに対しては
プラスになっている
含み益が
出ている状態だと
狼狽売りつけないよね
利益が出ている
からね



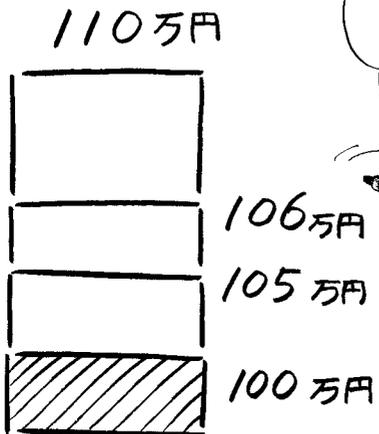
それって
わかるわ
期待値
高そうなもの



ということとは
次の日
基本的には
買いがくる



そう：
売らないよね
この段階では



終値が100万円の
初値に対して
110万円まで
引けたとすると
その間に出来高は
最初の2500株から
3500株くらいまで
増えていることもある

買った人が
何回も売ったり
買ったり
することもあるよ



こういう状態になって
その日の安値が
98万円だとしても
こんなのは
わずかな株数だから
影響は小さい

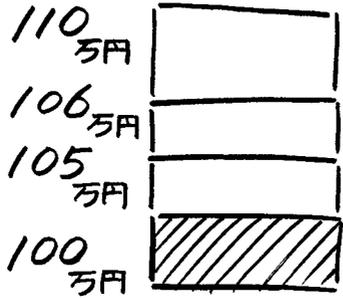
では投資家が
買った株価の
平均コストはいくら
くらいなのか：
このケースでは
だいたい
106万円から
110万円に
近い水準になる

それは
売り物がないから
こういうことにな
っている

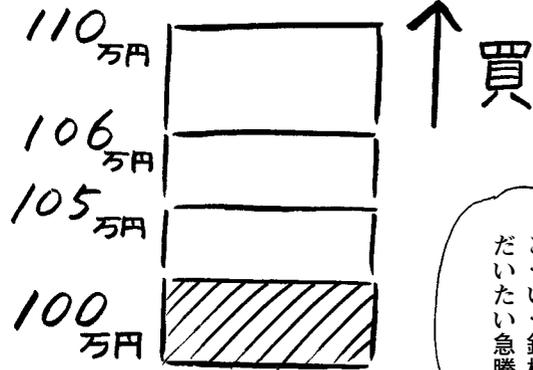
トレーダーズ証券は
翌日も
ストップ高になって
買い気配にな
っている



売ろうと考える



逆にこれが
110万円より下回った翌日
損をした状態だと
明日の寄付も
売りが強まるかなと
思うから



この終値が
高いのを見て
翌日に買おうと
思っても
買いたい投資家が
増えてくるので

こういう銘柄は
だいたい急騰していく

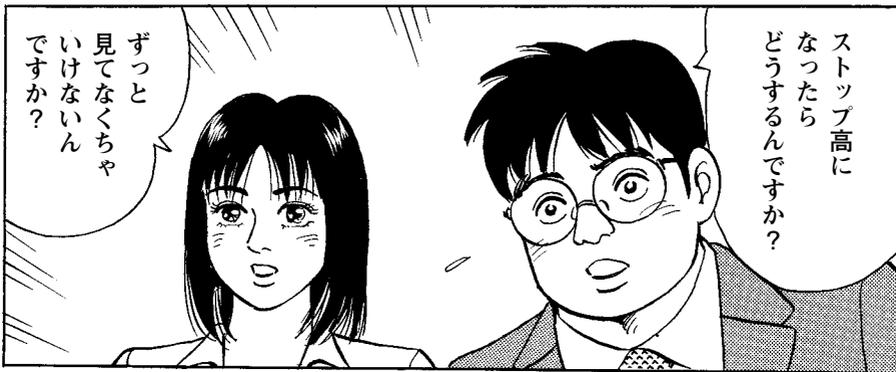
要するに
利益が出た状態で
翌日を迎え
翌日に買いが入ってくると
また利益が増えていく



利益が増えて
買えば儲かるという
いい循環が
できてくると
需給関係では
買いのほうが
強くなる

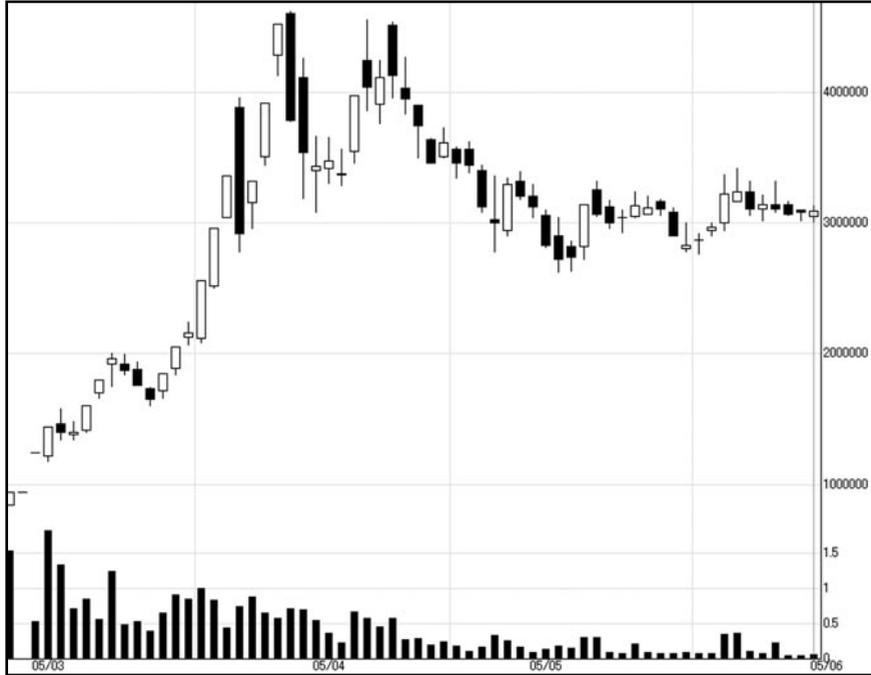
結果論になるけど
このチャートでも
翌日は
買いから始まっているね





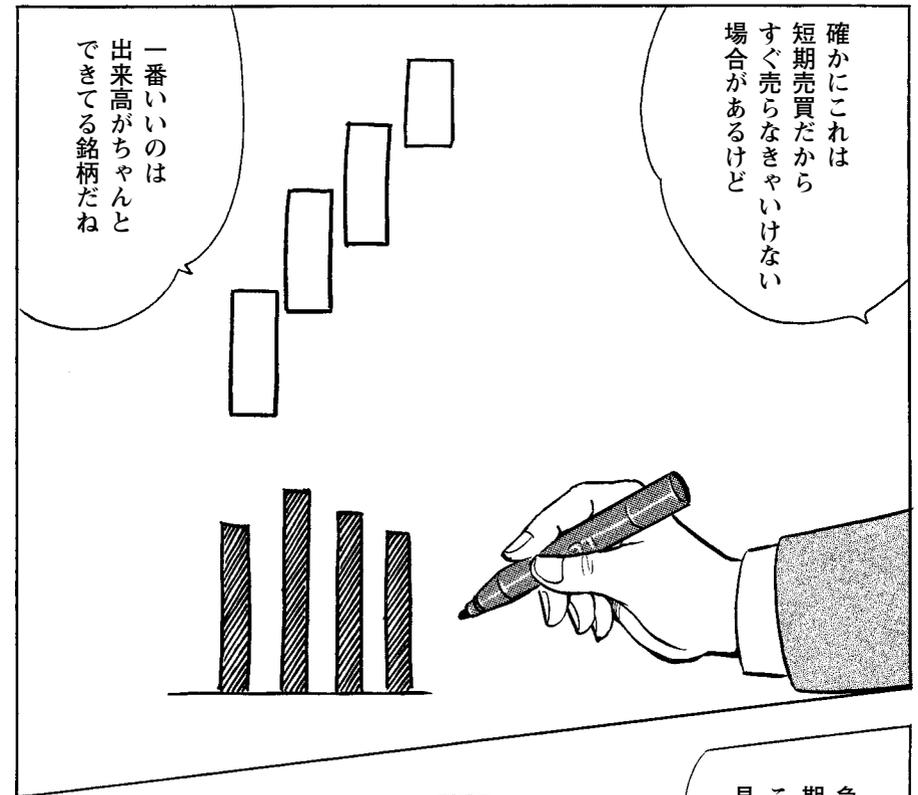
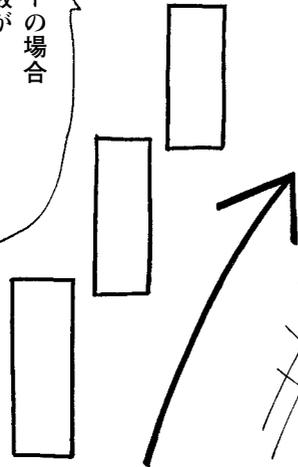
※窓：野線で、前日の高値(安値)より、当日の安値(高値)が高い(安い)場合にできる空間。

3765 ガンホー・オンライン・エンターテイメント (日足)
2005/03/09-2005/05/24



ガンホーの場合
公開株数が
たった1000株しか
なかったから
上がっていったと言える

単純に
初値よりも終値が
高い銘柄と
明らかに
その銘柄に対する
期待感の高い
IPOがある



一番いいのは
出来高がちゃんと
できてる銘柄だね

確かにこれは
短期売買だから
すぐ売らなきゃいけない
場合があるけど



ガンホーの
チャートだ

急騰している銘柄で
期待感が強い例として
このチャートを見て
みよう